

北山エリア整備に係るワークショップ（2回目）意見

テーマ：北山エリア整備に望むこと

<植物園に行ったことはあるか。>

今の植物園に対してどのように感じるか>

【1班】

- ・ 年に7-8回、季節ごとに行っている。写生にも行く。土曜には家内も一緒に行くので、楽しみにしている。
- ・ 家が近所なので、紅葉を見たり、ばら園に行ったり、散歩を楽しんでいる。
- ・ 現在小2の息子を育てている。以前は幼稚園の仲間とよく来ていたが、子どもが卒園したので、最近は通過してしまっている。小2の息子にとっては、今はちょっと物足りないようだ。
- ・ 森のカフェは、ジビエなどもあり、植物園らしくていい。家族で行ったり、子どもは芝生で走ったり、花を見たり、芍薬の名前がおもしろくて30分も見ていることもある。いろいろな門から入って、違うエリアを楽しんでいる。半木神社は、グッズがないのがさみしい。

【2班】

- ・ 近くにあるので、遠足や学校、プライベートでも行く。
- ・ 特別なイメージはなく、普通な感じがする。
- ・ 『京都寺町三条のホームズ』という本に登場している。
- ・ きのご文庫の本は、体を動かすエリアにあるので、なぜここにあるのか目的がわからず、何コレ？という印象を受ける。古いイメージで、子どもにとっては難しいように感じる。
- ・ いろいろ制約があるので、芝生のところまでは、普通の公園とする方がいいかもしれない。
- ・ 普段は見られないモノを連れてくるという、見世物小屋的思想のままに感じるので、コレでいいのか、と思う。
- ・ ワークショップもやっているが、特別展みたいなものもやって欲しい。

【3班】

- ・ 正門が汚くて古く、休憩する場所がないのは、イメージダウンになる。
- ・ 子どもの頃に行ったことはあるが、京都市外に住んでいて遠いので、「これがあるから行こう！」とならない。
- ・ 小学生時代に行ったが、植物を見るより、鬼ごっこしていた。植物園は、小さい子どもが楽しめる場所なのか、わからない。
- ・ トイレが汚く、行くのを我慢しがちになる。小さい子にも、直前まで我慢させてしまう。
- ・ 植物の説明が見つらい。
- ・ 結婚式の前撮りをやっていて、植物園の利用者が植物を見られないことがあった。
- ・ 近くに住んでいて、植物園は自分にとって庭のようなもの。あって当たり前存在なので、世代を超えて「なつかしいよね。〇〇あったね。」と話せるように、変わらない姿でいて欲しい。老朽化したところを修理する以外は、変えてほしくない。
- ・ 商業施設には、なってほしくない。

<植物園にどんな機能があるとうれしいか（学びの機能を中心に）>

【1班】

- ・ 植物にまつわる物語、STORYを、目の高さ（見やすい高さ）に掲示して欲しい。例えば、エピソードやなぜ危険なのかなど。
- ・ てんとう虫などの虫が、子どもは大好き。植物×虫の展示など、関連性が見えるようにすると関心を持ちやすい。
- ・ 子どもが好きなもののミニ博物館を館内でやってみてはどうか。例えば、子どもはどんぐりや松ぼっくりが大好きなので、どんぐり博物館などもいい。
- ・ 京都市動物園の動物パンのように、「植物園×おかし」のコラボもいい。
- ・ 今よりずっと自然に近かった時代を生きてきた、おじいちゃんおばあちゃんをキュレーターとして、植物を通してシニアと子どものコミュニケーションを楽しめるようにするとよい。

- ・ 来るきっかけになるようなコンテンツが必要。誰をターゲットにするかで内容も変わる。例えば、お子さん向けに植物系ポケモンを出現させてはどうか。ここからどう学びにつなげるかを考える必要があるけれど。
- ・ 植物園の歴史の展示があるといい。植物園になる前のこの土地のことや、植物園設立の機運、第二次世界大戦後の進駐軍の住まいとなった時代のことなど、どういうふうはこの場所が変わってきたのか、歴史を学べるとおもしろい。
- ・ 自然のものを使って遊べるようにしてはどうか。どんぐりや松ぼっくり、大きい松ぼっくりなどが置いてあるだけでも、どんぐり回しを作ったり、創作意欲もアップしそう。春夏秋冬、いろいろな素材を用意しておくといい。
- ・ どんぐりを通貨にお買い物ごっこができるどんぐりショップ、どんぐり商店街などを園内に作って、経済も学べるようにしてはどうか。
- ・ カワセミなど植物園に来る鳥や、鳥が好む木などについて解説する人がいたり、鳥が来た時には静かに見守ることなども教えてくれたりするとよい。賀茂川に来る鳥のことなど、植物園と賀茂川のつながりをもっと強く学べるといい。
- ・ 自然を守ることと、人が集まるコミュニケーションの場を両立させるにはどうしたらいいのか、考える必要がある。
- ・ 花壇エリアを、市民花壇という形で個人に開放できたら、植物園に来るきっかけになる。農園パスポートのようなものをつくってもいいのでは。
- ・ トイレに行くのがいやだと、飲み物も飲めないのも、園内のトイレを暖かく、きれいにしたい。

【2班】

- ・ 本を置くのなら、植物園関連のモノを置いて欲しい。場違い感がなくなればいい。
- ・ 記憶に残る場所、勉強できる場所があるといい。例えば、バオバブの木など。

- ・ 京都御所にある子ども向けの自然に関する本を備えた「森の文庫」は、よく活用されている。
- ・ 学校で事前学習し、植物園に来て実物を体験するなど、ゲーム感覚での誘導を考えるといい。
- ・ 雨宿りできる場所が少なく、雨をよけられなかったり、トイレが不便だったり、遊具は南側だけにしかなかったりするのを、改善して欲しい。
- ・ 玄人向きなのか、立て看板の説明が不十分。勉強になるように、もっと説明が欲しい。今は結局、スマホで調べている。
- ・ 全体として殺伐とした雰囲気なので、ガイドツアーがあれば嬉しい。市民の中に、やりたい人がいるかもしれない。
- ・ 京都らしさが欲しい。
- ・ ガーデンミュージアム比叡のような、名画の庭を実際の植物などで再現し、名画と対比させるような試みもあるといい。

【3班】

- ・ どんぐりワークショップや、植物の生態を学ぶような場があるといい。
- ・ 広すぎて迷うので、高齢者や車いすの人も、うまく楽しく回れるようなルート MAP があるといい。
- ・ 子どもでも読めるわかりやすい説明があるといい。
- ・ 昆虫が昔はたくさん飛んでいたが、今はあまり見なくなっている。植物園が昆虫と植物との共存の場になると、大人でもワクワクして、子どもも大人も喜ぶので、来場者も増える。また、今の子どもは、マンション住まいなどで生き物を飼えなかったり、公園でもゲームをしたりしているので、死んでほしくない、傷つけないという「生き物を大切にする」気持ちを育む場にもなる。
- ・ スタンプラリーは子どもだけでなく大人も楽しめる。

<学び以外にどのような要素があるとうれしいか>

【1班】

- ・ 植物園の中で結婚式ができればいい。

- ・ 植物園会館の食堂がなくなってしまったのは残念。飲みものや食べものを充実させて欲しい。
- ・ 雨の日でもゆっくりできる、雨の日の植物を愛でられる工夫をして欲しい。
- ・ 子どもたちも対象にした設備をつくる時、小さい子どもたちが素直に意見を言える、今回のワークショップのような場をつくってあげて欲しい。こういう体験をつまらせてあげたい。
- ・ 人を集めるための何かをやるなら、ぜひ、本気でやって欲しい。現状は中途半端に感じる。クリスマスのライトアップも、もっとちゃんとやってもいいのでは。
- ・ 北山街のお店とのコラボなど、華やかにクリスマスマーケットをやったらいいのと思う。
- ・ 温室のまわりの花壇は、少ない本数でもきれいに見せているなどと思う。館内のSHOP（花屋）で「あそこのバラと同じ花ですよ」という形で、販売するといいのではないか。花に関するストーリーを添えたり、「〇〇の花あります」と言ったりするのもいい。「植物園に行った思い出を家で育てる」という体験につながる。
- ・ 「春の庭」「夏の庭」「秋の庭」「冬の庭」というような、日本の伝統でもある季節を織り込んだ庭をつくったらいい。
- ・ 植物園の近くに住んでいても、今の見どころなどはなかなかわからない。今の推しがわかるように、もっと広報をがんばって欲しい。今は、近くのお店に行ったついでに植物園に行っているが、「植物園に行ったついでにお店に寄るわ」と言わせるくらいにして欲しい。
- ・ バラ園に彼女を立たせて写真を撮っている外国人をよく見かける。こういったものを取り上げれば、海外にも発信できる。
- ・ 立看板をきれいに、読む気になるようなものにしてもらえたら、子どもにも読みやすく、広く多くの人が学べるようになる。
- ・ 「植物園に一緒に行ったカップルは別れる」という噂を逆手にとって、別れない植物園のストーリーをつくる。例えば、「デートにきて大丈夫!」「きずなをためす!」というようなキャッチフレーズを打ち出すといい。

- ・ 半木神社は、今は、訪れても何の神様かもわからない状態だが、もっと使いたいし、大事にしたい。神社とコラボしたグッズも充実させていくといい。
- ・ 植物園のいろいろな経費を、税金だけで賄うのは難しいように思う。植物は生き物だからお金がかかるし、もうちょっとお金をまわせるアイデアをつくっていただけたい。入園料は現状を維持しつつ、収入アップできるような収入源ができたらい。
- ・ 植物園になっているバナナを食べられるといい。おいしくないかもしれないが、植物園でなったバナナというストーリーを食べている、レア感がいい。

【2班】

- ・ 温暖化や CO2、多雨によるセミや植物の変化などを経過観察し記録し、100年後にはこうなるかもを予測するような「府民共同研究」の場になるといい。府民みんなで研究し、見守るような関係になるといい。
- ・ アーティストと連携して、発表の場にしてもらいたい。コンペなどで競ってもらいと盛り上がる。
- ・ ここならではの特色が欲しい。アートを絡めたり、色彩的なエリアと地味エリアに分けてみたりといった工夫を試してみるのもいい。
- ・ 冬用イルミネーションが、一般住宅より少し華やかな程度で中途半端なので、もうちょっとがんばって、宣伝できるレベルにクオリティをアップして欲しい。
- ・ 自分で木製のおもちゃを作るワークショップもいい。
- ・ 木のおもちゃ、木の遊具が欲しい。
- ・ 「植物と暮らしを考える」といったことをテーマに、農業や林業なども仲間に入れて、対象を広げるといい。例えば、薪ストーブの紹介や薪割体験など。外の力を借りてみるのもいいと思う。屋内だけでなく、広い屋外を使ってワークショップを開催したらいいのではないかな。

【3班】

- ・ 遊具が中途半端に少ないので、植物を見るスペースと遊ぶスペースを分けるといいのではないか。
- ・ 小さい頃あらゆる木に登って、筋力がついたので、フィールドアスレチックや木でつくる遊具があるといいと思う。
- ・ ベンチが少ないので、増やして欲しい。
- ・ 休憩スペースや食べるスペースが少なく、夏や雨の日に困る。
- ・ 週替わりのパン屋さんやキッチンカーがあるといいかもしれない。
- ・ 75歳以上は無料なので、よく散歩に来ている。
- ・ 月ごとにテーマを設定して、見つけたらスタンプをもらえるような仕組みにしたら、子どもはもちろん大人もわくわくする。スタンプを集めて全部のスタンプを達成したら、花の種や球根がもらえたらうれしい。

<その他北山エリア全体にどんな機能、コンテンツがあればうれしいか>

【1班】

- ・ 府大の農学部や農場とコラボ。ダチョウの卵を展示するなど。でも、あまり府大でどんなことをしているのかを知らないなので、具体的に思いつきにくい。
- ・ 北山エリアの地下に駐車場を作るなど、長時間滞在できるような整備をして欲しい。駐車場も駐輪場も足りていない。
- ・ 北山エリアの歩道は、自転車と子どもがぶつかりそうになったり、ワチャワチャしたりしてしまう。歩道と自転車道を分けるなどの整備が必要ではないか。
- ・ 植物園では、芝生で走り回った思い出もあり、芝生は残したいと思うし、思い出の光景は大事にしたい。でも、後に続く孫の世代に負債を残さないために、きちんと整備する必要性もわかる。どっちも大事。思い出の芝生広場も、鎮守の森のときにはなかったはずだが、植物園ができて芝生広場になり、私にとっては残したいものになった。だから、変化を恐れず、未来のために変えていくことも大事だと思う。

【2班】

- ・ 北山エリアという印象が薄い。
- ・ 休憩スペースが少なく、歩きながらの飲食がしにくい。
- ・ 一時期、有名店がいろいろあって賑わったが、今は静かになってしまって、さみしい。今はすたれた、保守的なイメージ。「北山で食事しよう」「北山に行きたい」となって欲しい。
- ・ 今、岡崎エリアががんばっている。北山も植物園とからめてがんばって欲しい。
- ・ 賀茂川沿いにオープンカフェとかが欲しい。
- ・ 資料館（京都学・歴彩館）を、もっと図書館的に活用したい。
- ・ 北山は自分を見つめる場所。じっくり芸術を見るなどしたい。

【3班】

- ・ 道路に駐車している車が多く、道も狭いので、近所に住む人にとってはストレスになっている。駐車スペースが足りていない。ロータリーがあれば緩和できるのではないかな。
- ・ 文化・芸術系の劇場が移転してくるが、意外とアクセス便利なので、地下鉄利用者増のためにも、地下鉄で行くと安くなるプランなどをつくるといい。
- ・ 府大の共同体育館は、京都の大学生は安く使えるようにしてはどうか。ネットで気軽に予約できたり、道具を貸し出したりできるといい。
- ・ 北山駅から府大のグラウンドまでの下鴨中通りは、通勤通学の人が多い。同じ時間にかち合わないよう整理が必要ではないかな。
- ・ 北山エリア全体が整備されると、1日いたくなるような特典があるとうれしい。
- ・ 昔、府大で生みたて卵を販売していて、おいしかった。農場がなくなったので販売もなくなり、残念。
- ・ 移動動物園もできそう。エサをあげられるといい。
- ・ 駐輪場を増やして欲しい。北山門のあたりに駐車している車が多いが、「停めていいの？」と思って見ている。
- ・ 歩行者と自転車の通行区画を分けるなど安全面を考えて欲しい。

- ・ 植物園 100 年の歴史が残るように、文字だけでなく、写真や図なども使ったわかりやすく伝えられる資料をつくって欲しい。
- ・ 京都府民がつくる府民の花壇など、府民のための府民がつくる植物園ができれば、幼少期ぶりに行ってみたい。
- ・ 戦時を乗り越えてきた植物園は、歴史を学べる場でもある。
- ・ 今回のワークショップに参加して、近くに住む人と遠くに住む人で、考え方に違いがあることに気づいた。